

補助金調書

| | | | | | |
|---|--|---|-------------------------------|--------------|--|
| 補助金名 | 地域資源活用型農業チャレンジ事業補助金 | | | 担当課 (連絡先) | 農林水産局総務農林部 (農業振興・イノベーション等対策担当) (TEL092-711-4852) |
| 交付先 | <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 団体 | 農業者等 | | 区分 | その他の補助金 |
| 交付先決定方法 | <input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募 | (公募の場合) 公募時期 | 応募用件(2): 令和8年7月～8月 その他は非公募 | | |
| (公募の場合) 応募要件 | 次に掲げるいずれかに当てはまるものとする。 (1) 肥料の地域資源活用(非公募) 地域資源を活用した肥料の販売を行う事業者 (2) 耕畜連携の推進(公募) 市内で農業を営む農家又は法人(農業者の組織する団体を含む)と連携して、飼料の生産・流通に取り組む者 (3) 市内産粗飼料活用対策(非公募) 耕畜連携により生産された粗飼料を購入する市内畜産農家 (4) 自給飼料生産効率向上対策(非公募) 土壌分析により、自給飼料作物の収量の安定及び向上に取り組む畜産農家 | | | | |
| (非公募の場合) 非公募の理由 | 当該補助事業を行う個人・団体が限定されているため。 | | | | |
| 補助開始年度 | 令和5 | 年度 | 経過年数 | 4 | 年度 |
| 補助金の目的 及び 補助対象事業 | 【補助金の目的】 農畜産業において、肥料原料や飼料の多くは輸入に依存していることから、地域資源活用へのチャレンジを支援することにより、国際市況等の影響を受けにくく農業への転換の促進を図る。 【補助対象事業】 ・地域資源を活用した肥料の販売促進に取り組むもの ・耕畜連携による飼料生産及び流通に取り組むもの ・耕畜連携により生産された飼料の地域資源活用に取り組むもの ・土壌分析により自給飼料作物の収量の安定及び向上に取り組むもの | | | | |
| 補助金の終期 | 令和8 | 年度 | 延長回数 | 0 | 回 |
| 終期を延長する理由 | | | | | |
| 交付対象経費及び補助金の算定方法等 | <input type="checkbox"/> 定率 | 【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 (1) 地域資源を活用した肥料の販売額の1/2以内 (2) 耕畜連携による飼料生産・流通に係る資材、機械等の購入経費の1/2以内(上限200万円) (3) 耕畜連携により生産された飼料の購入経費: 定額25円/kg (4) 自給飼料生産効率向上による土壌分析、飼料作物の種子等の購入経費の1/2以内 | | | |
| (間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準 | 【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】 (間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準) | | | | |
| 交付状況等 【上段: 交付件数】 【下段: 決算】 (※1) | 当該年度 | 前年度 | 前々年度 | 前々々年度 | |
| | 件 | 8 件 | 4 件 | 4 件 | |
| | 5,940 千円 | 4,952 千円 | 3,789 千円 | 1,790 千円 | |
| 前年度補助事業 の主な実施概要 | ・市内産再生リンを活用した肥料の販売を行う事業者に対して値引き費用一部支援(2件) ・耕畜連携による飼料作物生産に必要な機械等の導入支援(2戸) ・耕畜連携により生産された市内産粗飼料の購入経費の支援(1戸) ・土壌分析、牧草種子等の自給飼料生産効率向上のための資材購入経費の支援(3戸) | | | | |
| 補助金交付 による効果 | 地域資源を活用した肥料への転換、自給飼料の生産拡大及び耕畜連携の推進により、肥料や飼料を安定的に確保し、国際市況の影響を受けにくい農業への転換が促進される。 | | | | |

※1: 金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。